

「第3次延岡市環境基本計画 後期計画（案）」への意見募集の結果

No.	ご意見の概要	本市の考え方
1	私の地域では、地域の方や父兄の協力のもと、稲刈りやかかし作りなどの農業体験学習を行っている。生徒数の少ない学校もあるがこれからも続けてほしい。	ご意見の農業体験学習は、本計画の施策5に掲げております環境学習に関する機会づくりに貢献するものと認識しております。 環境学習につきましては、地域の方々や関係団体のご協力のもと、市の関係部署と連携しながら、多くの学校で特色ある教育として実施しております。 今後も、引き続き、農業体験学習を含む実践的な環境学習が続けられるよう、支援に努めてまいります。
2	以下のことについて検討してほしい。 ①河川流域への各種粗大ゴミ等の現状、及び国道、県道沿線の景観対策について ②林産物の伐採方法と、育林対策について ③現在指定環境保全地区の指定継続と流域拡大について ④空家、及び荒廃、水田、畑等の制限指導と有効活用対策について ⑤有害鳥獣の被害対策について	ご意見の項目につきましては、延岡市が目指す「人と自然が共生し、持続可能な発展を続けるまち」の実現のために欠かせないものと認識しております。①及び④（空家対策）については、本計画の施策5に記載の取組を進めていくこととしており、また、それ以外の②③④⑤の項目については、施策3に記載の取組を進めてまいります。 これらの解決には、行政の取り組みだけでなく、市民の皆様一人ひとりの意識と行動が不可欠であると考えており、今後も、市民の皆様と共に、より良い延岡の環境づくりを進めてまいります。
3	今まで延岡市の環境の事など考えていなかったが自分で料理したものを食べ、家族皆が元気でいもらえるよう、マイバックで買物したり、洗濯、掃除をほどほど頑張ったりしている。今後もSDGsの17の目標など気をしながら、自分ができる範囲でこれからも頑張っていきたい。	家庭における環境への取組は、市民の皆様一人ひとりの暮らしと密接に関わっており、日々の生活の中でできることを実践することが、重要であると認識しております。 家庭でできる省エネ行動等については、本計画の施策1や施策2で取組を記載していますが、持続可能な社会を築くためのSDGs（持続可能な開発目標）の達成には、行政の取り組みだけでなく、市民の皆様一人ひとりの意識と行動が不可欠であるとと考えており、今後も、市民の皆様と共に、より良い延岡の環境づくりを進めてまいります。
4	延岡の自然を守っていく活動はこれからも継続していくべきであり、太陽光発電や太陽熱エネルギーの利用促進についても、環境に配慮しながら進めていくべきだと思う。自然を破壊してまで太陽光発電などの設置は望んでいない。	本市では、2050年までに温室効果ガス排出量を実質ゼロにする「ゼロカーボンシティのべおか」を宣言しており、その実現のためには、太陽光発電をはじめとする再生可能エネルギーの導入促進が重要な柱となります。一方で、ご意見のように、設備の設置が自然環境に与える影響についても十分に配慮する必要があります。 本市では令和6年8月より、学識経験者の方々や各種団体、事業者の代表の方々などで構成される「延岡市再生可能エネルギー推進のあり方に関する検討委員会」を設置し、検討を行ってきました。 その結果、再エネ設備を設置することが適当でない「保全エリア」を定め、建物を中心に、すでに人の手が入って開かれた土地等を再エネの促進区域とした「延岡市地球温暖化対策実行計画（地域脱炭素化促進事業編）」について、今後、本計画と同様に意見募集を行うこととしています。
5	ごみのないまちづくりとして、子供も参加してウォーキングをしながらゴミ拾いをするようなイベントがあれば街の散策と美化活動になると思います。	市では、クリーンアップ宮崎や延岡アースデイなどで市民や企業等が行う清掃等の美化活動のほか、自治会等が行う公園や市道等の美化活動などに対する支援を行っているところです。 ご意見のようなイベントは健康増進を図りながら、地域の美化に貢献できるだけでなく、街の魅力や課題を再発見する機会にもなり、また子供たちの環境問題への関心を高めることも期待されますので、今後のイベント実施の参考とさせていただきます。